

NIE 年間指導計画 カリキュラム系統表

情報収集・発信			
	単元	指導内容	指導語彙・表現
小4	新聞を作ろう アンケート調査のしかた 新聞にのせる写真や図などを選ぶ ときには	新聞の特徴と作り方 句読点や段落などに気をつけて書く。 【S1】教材文を読む。 【S2】新聞の特徴や作り方の手順、割り付けの工夫を学ぶ。 【S3】取材 メモを取ること アンケート調査の方法 ★ 新聞は、さまざまなじょうほうを、多くの人に知らせる目的	新聞のとくちょう ― ・新聞名と発行日、発行者 ・いくつもの記事 ・見出し ・写真 取材 ― ・取材のしかた ・記事を書く人の分担 ・メモ 記事の下書き ― わりつけ ・文の終わりー「です・ます」か、「だ・である」か。 ・読み手を引きつける見出し ・文章や文字にまちがいがいないか ・文字のまちがいはないか。 ・句読点や符号の使い方はよいか。 ・主語と述語は合っているか。 ・「です」「ます」と、「だ」「である」が交ざっていないか。
小5	新聞を読もう	新聞記事ー 見出しやリード文から要旨をとらえる。 【S1】教材文を読み、新聞の一面の構成を確認する。 【S2】新聞が、どのような作りになっているか確かめながら読む。 【S3】新聞のそれぞれの面にどのような分野の記事が書かれているか調べる。 【S4】二つの記事を比べ、見出しや写真の違いが読者に与える印象を考える。 ★ 情報を収集し、取捨選択し、関連づける。（社会科ー横断的指導）	新聞の編集 記事 社会で起きていること（動きや出来事） コラム 社説 解説 新聞 名 発行日 発行者 目次 見出し リード文 本文 面 写真・図表 全国紙 地方紙 着目
小6	ようこそ、わたしたちの町へ	パンフレット(文章全体の構成や、目次や見出し、リード文、解説文) 【S1】 パンフレットにどのような情報が書いてあるかを調べる。 【S2】 パンフレットの構想を練る。 【S3】 適切な方法を選んで取材する。 【S4】 情報を取捨選択し、パンフレットの構成を決める。 記事や写真などを配置し、パンフレットを作る。	パンフレット 小冊子 効果的な構成 記述 構想を練る ブレーンストーミング 取材 推敲 優先順位 ページ割り付け 題名 目次 見出し 参考資料 誤字 キャッチコピー ー 着目して 根拠 数値
中1	情報の集め方を知ろう 情報コラム	情報を集めるための方法を理解し、 目的に応じて必要な情報の読み取り方を身につける。 【S1】どのような情報の集め方があるのか考える。 【S2】テーマを決めて、本から情報を集める。 【S3】テーマについて、インターネットを利用して調べる。 ★ 新聞の紙面構成の特徴を理解する。	記録カードの作り方 検索のしかたや情報源の明記 録音や撮影のしかた 見出しやリード文などの効果
中2	メディアと上手に付き合うために 情報コラム 著作権について知る	メディアの特徴について書かれた文章を読んだり、自分で多様なメディアから情報を集めて比較したりして、メディアとの付き合い方について自分の考えをもつ。 【S1】「メディアと上手に付き合うために」を通読する。 ・ テレビ、新聞、インターネットの特徴を、表などにまとめる。 【S2】「いろいろなメディアから得た情報を比べよう」を通読する。 【S3】メディアとの付き合い方について考える。 【S4】「著作権について知る」を通読し、著作権について知識を深める。 ★ 新聞やインターネット、学校図書館等の施設などを活用して得た情報を比較する。	リポーター 一面トップ パソコン スクラップ
中3	「想いのリレー」に加わろう 「情報発信」について考えよう	語句の使い方に気をつけながら現代のメディアの特徴を読み取り、 情報発信の意義と注意点 について考えを深める。 【S1】全文を通読し、さまざまなメディアの特徴を考える。 【S2】新聞、テレビ、ソーシャルメディアの特徴について意見を述べる。 【S3】クラスでできる「情報発信」について話し合う。	東日本大震災 動画サイト グーテンベルク 木版印刷 ブログ ソーシャルネットワー キングサービス 重大な問題 デマ 検索エンジン
	新聞の社説を比較して読もう	社説を読み、 主張や論理の展開、表現のしかた を捉える。 話題に関する複数の文章を読み比べ、主張や構成について評価し、ものの見方や考え方を広げる。 構成や論理の展開を工夫し、資料を適切に引用して意見を主張する文章を書く。 【S1】社説を読み、わからない言葉を調べながら、社説の話題を確認する。 【S2】「見出し」「主張」「論理の展開」「表現・語句」で、気づいたことを表にまとめる。 【S3】二つの社説を読み比べて、内容や表現を整理し、主張や論理の展開のしかたを評価する。 ★ 論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読む。	社説 主張 論理の展開

※ 【S】ーステップ（岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室で使用している日本語能力レベル）の略

NIE 年間指導計画 カリキュラム系統表

話し合い・発表・ディスカッション		岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室		
	単元	指導内容	指導語彙・表現	
小3	見せながら話すときには	◎相手を見て、大事な部分や言葉を強調したり、間の取り方に注意したりして話す。 ▲適切な言葉遣いで筋道を立てて話す。		
小4	よりよい話し合いをしよう	■よりよい話し合いのしかたについて考える。 四つの観点 ①予定通り進めるには ②意見が出るようにするには ③議題にそって話し合いを進めるには ④まとめるには ■「話す言葉は同じでも」 会話ー表情や声の調子		
小5	グラフや表を用いて書こう	◎図表やグラフの用い方 【S1/S2】「グラフや表を用いて書こう」を読む。 【S3/S4】「社会は、くらしやすい方向に向かっている」を読み、意見を発表する。	統計資料（グラフや表）	リユース リサイクル ごみ排出量 折れ線
小6	表現を選ぶ	伝える方法による表現のちがい 書き言葉と話し言葉 【S1/S2】例文を人に伝える表現にし、変えた理由を話し合い、その条件を整理する。 【S3/S4】話し言葉と書き言葉の違いについて整理する。 【S3/S4】設問について考え、話し合う。		
中1	調べたことを報告しよう レポートにまとめる	◎課題に合わせて、集めた材料を整理する。 ◎調べた内容がわかりやすく伝わるように、構成に沿って文章にまとめる。 【S1】教材文を読み、レポートの形式に沿ってまとめる方法について理解する。 【S2】報告する課題を決める。 【S3】調査して材料を集める。集めた材料を整理する。レポートの構成を確認する。 【S4】レポートの構成に沿って、文章にまとめる。 ★日常中から話題を探し、報告の文章（レポート）を書く。		
中2	話し合って考えを広げよう パネルディスカッションをする	◎社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定して考えをまとめ、論理的な構成を考えて話す。 ◎相手の意見や考えを尊重しながら目的に沿って討論し、互いの発言を比較・検討しながら自分の考えを広げる。	【パネルディスカッション】 あるテーマ（論題）について、異なる意見をもつ三～五名のパネリスト（発表者）がフロア（聴衆）の前で討論した後、フロアも討論に加わって全体で議論を深める話し合いの方法。 【パネリスト】 ある立場を代表して、意見とその根拠を簡潔にわかりやすく発表する。パネリストどうしで、互いの意見について質問や反論をし合う。	
中3	社会との関わりを伝えよう 相手や目的に応じたスピーチをする	◎自分の体験や知識を整理して、話す内容を決める。 ◎話す相手や目的を意識して、資料を活用したり、話し方を工夫したりする。 【S1】スピーチの話題を考える。 ・自分の社会生活を振り返り、印象深いものなどを話題にする。 【S2】スピーチの相手と目的を考える。 ・場面・相手・目的について考え、必要に応じて話題を考え直す。 【S3】スピーチの内容と構成を考える。 ・設定した場面・相手・目的にふさわしいスピーチになるように、話す内容や順序、言葉遣いや説明のしかたを考え、構成メモにまとめる。 【S4】スピーチをする。		
	話し合いを効果的に進める	◎話し合いが効果的に展開するように進行のしかたを工夫する。	論点を整理する 話し合いの展望をもつ	

※ 【S】 ーステップ（岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室で使用している日本語能力レベル）の略